

みんなで防ごう土砂災害
6/1→30

がけ崩れ防災週間 6/1→7

命を守る

不透過型

透過型

土砂災害防止についての
砂防ダム

絵画・作文を募集します

土石流、地すべり、がけ崩れなどの

土砂災害のようすや砂防しせつ

(砂防えん堤など)を見学したときに

見たこと、感じたこと、考えたことを

ドンドン送ってください。

応募について

内容・大きさ

絵画のかき方、大きさは自由。作文は400字詰めの原稿用紙で小学生低学年は2~3枚(800~1,200字)、高学年は3~4枚(1,200~1,600字)、中学生は4~5枚(1,600~2,000字)。
どちらも未発表のものに限ります。

応募期間

令和7年6月1日~9月15日まで

応募資格

小学生・中学生

送り先

あなたの住所、氏名、年齢、電話番号、学校名、学年を記入し、
都道府県庁砂防主管課

「土砂災害防止に関する絵画・作文募集」担当あて

賞

最優秀賞／優秀賞

発

表

令和8年2月中

表彰

令和8年3月中に国土交通省又は各都道府県において行います。

これまでの入賞作品は国土交通省砂防部Webサイトで見ることができます。

https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sabo/kaiga_sakubun.html



全を守る秘密兵器

市立城南小学校 5年 長谷

鉛筆



どしゃさいかいのようす

土砂災害つてなに？



がけ崩れ（斜面崩壊） 急な斜面が崩れる

- 傾斜が30度以上ある斜面が危ない。
- 大量の雨が地中にしみ込むと起きやすい。
- 大雨の時に一瞬のうちに起こることが多いため、逃げ遅れて助からないおそれもある。
- 雨が止んだ後に起こることもある。雨が止んでも数時間は注意。
- くずれた高さの2倍くらいのところまで土砂がおそってくることもある。



がけ崩れの前ぶれ



立退き避難が困難な時は、がけから離れた部屋や2階などに避難しよう。



土石流

山から崩れた土や石が、水といっしょになって、ものすごい勢いで流れ下ってくる

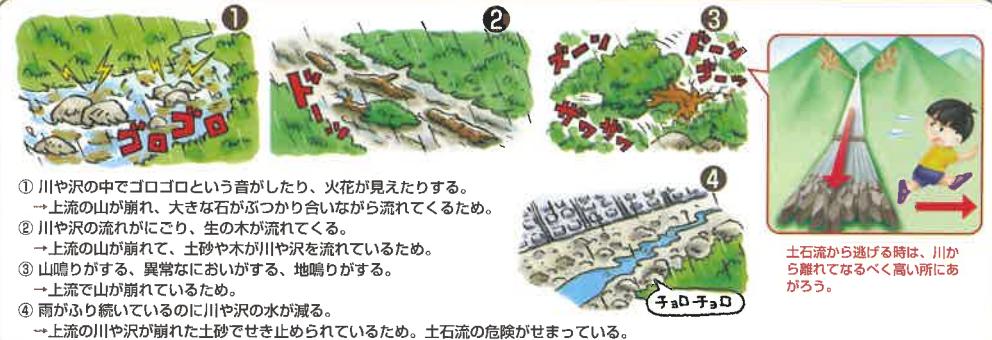
- 大雨が発生の引き金になる。梅雨や台風の時期は特に注意。
- 速いときは時速40キロ以上。大きな岩も流してしまう。
- 雪どけ水で発生することもある。



こんな変化に注意 土砂災害の前ぶれ（前兆現象）

身のまわりでこんな現象が起きたら、すぐに近所の人や役場に知らせ、安全な場所に避難しましょう。特に大雨が降っているとき、降ったあとは要注意です。

土石流の前ぶれ



- ① 川や沢の中でゴロゴロという音がしたり、火花が見えたりする。
→上流の山が崩れ、大きな石がぶつかり合いながら流れてくるため。
- ② 川や沢の流れがにぎり、生の木が流れてくる。
→上流の山が崩れて、土砂や木が川や沢を流れているため。
- ③ 山鳴りがする。異常においがする、地鳴りがする。
→上流で山が崩れているため。
- ④ 雨がひり続いているのに川や沢の水が減る。
→上流の川や沢が崩れた土砂でせき止められているため。土石流の危険がせまっている。

土石流から逃げる時は、川から離れてなるべく高い所にあがろう。



地すべり

やや傾斜のゆるい斜面が、広い範囲にわたってかたまりのまま動く

- 雨水や雪どけ水が地中にしみ込んで起こる。
- 家や田畠といっしょに大地がゆっくり動くこともあります。
- 突然一気に何十メートルも動くこともあります。
- 地震が原因で起こる地すべりもある。



地すべりの前ぶれ



- ① 池の水がごったり、減ったりする。
- ② 山の木がザワザワとさわぐ。木の裂ける音や木の根が切れる音がする。
- ③ 地鳴りや山鳴りがする。
- ④ わき水がふえる。
- ⑤ 地面にひび割れや段差ができる

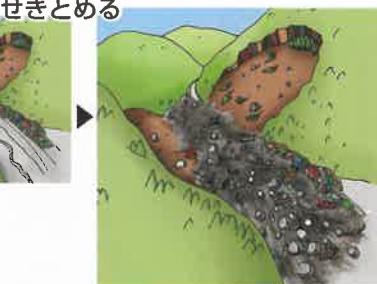
ここにあげたのは前兆現象の一例です。このほかにも「いつも何か違う、変だ」と感じたら、役場や近所の人へ知らせて安全な場所に避難してください。



河道閉塞(天然ダム)

崩れた土砂が川をせきとめる

- 地すべりやがけ崩れの土砂、土石流で流れてきた土砂が、ダムのように川をせき止める。
- 天然ダムの上流側は湖のように水がたまり、家や田畠が水につかる。
- 天然ダムはやがて、たまつた水の力で一気に崩れ、下流に土石流が押し寄せる。



土砂災害警戒区域の看板

近所にこういう看板はないですか？

がけ崩れ、土石流、地すべりの危険が大きい場所を示しています。
これらの場所は特に注意しましょう。



大雨などが引き金となつて大量の土砂が崩れたり動いたり、水と一緒に流れたりすることを起こる災害のことです。地震が直接の原因となって起こる土砂災害もあります。また大きな地震のあとは、地震が崩れやすくなっています。少しの雨や余震でも土砂災害が起きやすくなります。